

今年は暖冬だそうで、暖かい日にはこのまま春がきてしまうのかしらと思うくらいです。インフルエンザの流行もなく、過ごしやすい冬ですね。でも、まだまだ寒さが戻る日もあるでしょうから、油断は禁物ですね。

## コーンカップ人形



1歳くらいの子どもは、いないないばあが大好き。講習会へお母さんについてきていたお子さんがぐずりだしたので、コーンカップ人形を“ばあ”と出して見せたら、グラグラ笑い出したことがありました。

うちの子供たちが通っていた幼稚園の園長先生は、この人形で「あずきちょめめちょ、やかんのつ〜ぶれちょ」とわらべうた遊びをしてくださったので、我が家にあそびに来た子たちは、私が作ったコーンカップ人形を見て、「どうしてこのおうちには“あずきちょめめちょ”がいるの？」と不思議そうでした。

キットには頭部の材料と、人形がかけられるコーンカップ、棒が入っています。洋服とカップに貼る生地は自分で選びます。私はブラウスとスカートのような印象の生地にしましたが、「スペース ベレのあたらしいふく」にはシルクにくるまれて現れるお姫様のようなコーンカップ人形があって、私は見る度にチュールリップの中のおやゆびひめを連想し、いつかこんな“おひめさまコーンカップ人形”を作ってみたいなーと考えています。(コーンカップ人形 全長約45cm キット 1,890円)



ばたぼん 木下久子 作

## スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

- ★現在「ウォルドルフ人形の本」が、欠品中です。2月末には増刷入荷の予定です。今しばらくお待ちいただくようお願いいたします。
- ★「糸フェルトのセット」は販売終了となりました。
- ★「チルチンぴと」41号(2月5日発売)スクランブルコーナーにスウェーデンひつじの詩舎の記事が掲載されます。どうぞご覧ください。

## 新連載 ひつじ よ〜も〜やまばなし

- その1 -

「羊と人間との長〜いおつき合い」

羊と人間が初めて出会ったのは遠い原始の昔。紀元前6000年頃には、中央アジアの高原で羊を飼っていたと言われ、かれこれ8000年ものおつき合いになるのです。羊には鋭い牙も爪もなく、外敵には弱い動物なので、いつも群れをつくって行動します。羊のそんな性格のおかげで、たくさんの羊を飼うことができるのです。

人間は外敵から羊たちを守ってあげて、羊は衣料やカーペットなどに使われるウールだけでなく、食料のミルクなどを供給してくれ、昔も今も共存共栄の関係が続いているのです。

私どもも約80年来、世界中からさまざまなウールをご紹介してきました。佐々木奈々子さんとの出会いをきっかけに、スウェーデンのウールをできる限り忠実に再現しています。これからも長〜いおつき合いを続けていきます。 ひつじおじさん 日比野祐三

## ばたぼんの仕事展 ウォルドルフ人形 ~遊びの風景~ スウェーデンひつじの詩舎講師「ばたぼん」の作品展

- 2月8日(木)~13日(火) アートスペース 201 札幌市中央区南2西1-7-8 山口中央ビル 6F  
TEL:011-251-1418 担当:長内洋子・村本泰江
- 2月19日(月)~21日(水) ルヴィーブル 福山市西桜町1-5-17  
TEL:0849-25-3587 担当:安田いず実
- 2月24日(土)~25日(日) 千葉市生涯学習センター 3F 工芸研究室 中央区弁天3-7-7  
TEL:043-207-5811 担当:岡根和枝
- 2月25日(日)~26日(月) Anty 北九州市小倉北区清水3-2-18  
TEL:093-963-8033 担当:岩淵志温
- 3月2日(金)~11日(土) NPO 高知こどもの図書館 高知市永国寺6-16  
TEL:088-820-8250 担当:川崎典子

このあと、茨城県水戸市、日立市、つくば市、宮城県仙台市でも予定しています。各会場ごとに、ウォルドルフ人形と講師たちが首をなが〜くして、みなさまのお越しをおまちしています〜!

## その他の作品展

第5回 ウォルドルフ人形に魅せられたなかまたち

- 2月27日(火)~3月4日(日) 北野坂ギャラリー3F 神戸市中央区本通1-7-17  
TEL:078-222-5517 足立美和子と教室生22名による

## ばたぼん通信

昨年11月の「ひつじの詩だより」のこの欄に、家庭科の先生が文章を書いていらして、こんなステキな方もおられるのだと、とてもうれしくなりました。というも私は「家庭科」が嫌いで、先生も苦手だったからです。宿題は、母や祖母の手をわずらわせていました。そんな私が「手仕事」に近づいていくきっかけは、「娘の誕生」でした。0歳の娘をはじめ保育園に預けると、通園バックを作ろうと思いついたのです。ミシンもないので手縫いで赤いデニム地にアップリケをして。ひと針、ひと針縫うなかに、娘を預ける不安や仕事に復帰するという決心が込められていたのかもしれない。出来はともかく、手で作ることの楽しさは私を魅了し、次々と服や編み物、リフォームまで手を広げました。写真の赤い帽子は、娘のお気に入り、喜んで使ってくれる人がいるのは幸せです。

時を経て、私は「てとと工房」を始めます。「手を使って作ること、そして手をつないでいくこと」、そんな気持ちをこめていますが、今年は15周年を迎えます。

人形作りに見える方たちが、裁縫は苦手といいながら、楽しんで、苦しんで?出ていくものは、形に見えるものだけではないと思います。大人が大事に思っていることが、子どもたちに伝わっていきますようにと、願いながら、私もせっせと手を動かしています。

(本とおもちゃの店 TETOTETO 代表・高橋美恵子・東京江東区)



編集担当:佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ  
<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥  
スペース ベレのあたらしいふく  
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2  
TEL/FAX 045-881-6900.6665  
佐々木のアトリエ TEL/FAX 045-811-6708  
総経理/火・金 担当:寺田裕子045-881-7035